

令和6年第7回 大田原市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和6年6月11日(火)	午前1時30分	
開催場所	南別館2階会議室		
会議出席状況	教育長	篠山 充	出席
	委員	小林 朋子	出席
		川上 聖子	欠席
		深澤 道昭	欠席
		森 泉	出席
		渡邊 英憲	欠席
	事務局職員	教育部長	君島 敬
学校教育課長		小室 和徳	生涯学習課長
又木 一ツ 振興課長		大島 実	
書記	教育総務課	遠山 多恵	藤田 有未子
付議事項	○ 報告	1 件	[報告第 17 号~第 17 号]
	○ 協議	0 件	[協議第 号~第 号]
	○ 議案	0 件	[議案第 号~第 号]

- 1 開 会 午後1時30分
- 2 前回会議録の承認
- 3 議 事  
日程第1 報告第17号 教育委員会の事業推進について
- 4 そ の 他
- 5 閉 会 午後2時30分
- 6 傍 聴 人 0名
- 7 会議の要旨 次のとおり

令和6年 第7回 大田原市教育委員会定例会 発言要旨

令和6年6月11日（火）午後1時30分から

- 教育長（篠山 充君） ただいまから令和6年第7回大田原市教育委員会定例会の会議を開きます。  
 前回会議録は、書記をもって調製させましたので、順次回覧いたします。内容をご確認いただきたいと思います。  
 （会議録順次回覧）
- 教育長（篠山 充君） 会議録の内容についてご確認いただきましたが、前回会議録につきましてご承認いただけますか。  
 （異議なしの声あり）
- 教育長（篠山 充君） 異議はないようでありますので、会議録は承認されました。委員会閉会后、ただいまの会議録に署名をお願いいたします。  
 本日付議いたします案件は、報告1件であります。  
 それでは日程に従い会議に入ります。  
 日程第1 報告第17号 教育委員会の事業推進について を議題といたします。  
 詳細について、各課長から説明をお願いします。
- 教育総務課長（羽石 剛君） （説明を行う）
- 学校教育課長（小室和徳君） （説明を行う）
- 生涯学習課長（岡 一弘君） （説明を行う）
- スポーツ振興課長（大島 実君） （説明を行う）
- 教育長（篠山 充君） 説明が終わりましたので、ご質問やご意見、ご感想などをいただきたいと思います。
- 職務代行者（小林朋子君） 生涯学習課の地域学校協働本部について。  
 今までの学校運営協議会との棲み分けについて再度確認したい。
- 生涯学習課長（岡 一弘君） 学校運営協議会と地域学校協働本部が、お互い協力する形となります。
- 職務代行者（小林朋子君） それぞれ委員が選出される形であれば、同じ方が選ばれることもありますか。
- 生涯学習課長（岡 一弘君） おっしゃるとおりです。  
 これまで地域学校協働活動を行うのは学校運営協議会の下部組織でしたが、新たな組織の「地域学校協働本部」を設置したところです。
- 委員（森 泉君） 昨年度、親園中学校区で設置されたが、2つの組織の違いや役割などについて分かりにくいところがありました。

- 生涯学習課長（岡 一弘君） 今まで、地域学校協働活動は学校が主体となって実施していましたが、今後は地域学校協働本部が主体となり、学校の要請に基づき実施していくこととなります。  
事業実施にあたり、必要な人材は、地域学校協働活動推進員、生涯学習活動推進員が把握しております。
- 職務代行者（小林朋子君） 「地域学校共同本部」には、地域の人材を把握し学校が必要とする人材を紹介できるようにしておく必要がある、ということですね。
- 生涯学習課長（岡 一弘君） 地域学校協働活動推進員及び生涯学習活動推進員に、人材確保を含めた地域における役割について、より深く知ってもらうよう依頼しているところです。
- 委員（森 泉君） 教育総務課の奨学金について。  
給付型を検討中とのことですが、現在考えている資格要件があれば教えていただきたい。
- 教育総務課長（羽石 剛君） 貸与型は継続して実施する予定ですが、給付型は学力要件及び収入要件ともに貸与型との差をつけることで検討しているところです。
- 職務代行者（小林朋子君） 給付を受けた方には大学卒業後大田原市へ戻ってきていただく等の条件があると良いのではないのでしょうか。
- 教育総務課長（羽石 剛君） 先にまとまったお金を渡してしまう給付型と、大学卒業後に大田原市へ戻ってくることにより奨学金の返還を免除するという、大きく分けて二通りの方法があり、現在どちらにするかは検討中です。
- 委員（森 泉君） 現在の奨学金制度では、在学中でも申請できますか。
- 教育総務課長（羽石 剛君） 進級の際など、申し込み期間に申請すれば可能です。
- 職務代行者（小林朋子君） 奨学生が減少している理由は何でしょうか。
- 教育総務課長（羽石 剛君） 日本学生支援機構等の奨学金が早くから申し込みできるため、と考えられます。
- 教育部長（君島 敬君） 日本学生支援機構は早い段階ですべての生徒に資料を配布しております。市としても、早い段階の周知等、より多くの生徒へ情報がいきわたるよう検討出来ればと考えております。
- 委員（森 泉君） 学校教育課の校務支援システムについて。  
何社の業者のデモを想定していますか。
- 学校教育課長（小室和徳君） 15社程度がシステムの提供をしておりますが、大田原市の仕様や現場の状況にあうものを見て検討したいと考えております。
- 委員（森 泉君） どのようなシステム内容ですか。
- 学校教育課長（小室和徳君） 児童生徒の基本情報や指導要録等を一元管理し、各種必要書類をプリントアウトできるようなシステムとなります。

- 委員（森 泉君） 近隣市町の導入状況を伺いたい。
- 学校教育課長（小室和徳君） 県内14市で導入していないのは、大田原市のみとなっています。
- 教育長（篠山 充君） 他市の状況を確認し、使いやすいシステムを導入できることを期待します。
- 委員（森 泉君） スポーツ振興課の大田原マラソン大会について。現時点での申し込み者数は、昨年度と比較していかがか。
- スポーツ振興課長（大島 実君） 昨年度と比較すると厳しい状況です。昨年度とは募集開始時期が違いますが、募集開始1ヶ月の状況と比較しても少ない状況です。マラソンの部のみならず、10キロの部の申込者も少なくなっております。  
マラソン自体の人口減少もありますが、マラソンを競技としてではなく、趣味としている方が多いのではないのでしょうか。  
ただ、大田原マラソン大会の特色（スペシャルドリンクの設置、給食提供無）を撤廃することは避けたいと考えており、参加料の値上げについても、検討して参りたいと考えております。
- 委員（森 泉君） 何名を目標としていますか。
- スポーツ振興課長（大島 実君） 2,000名の出場で、黒字運営が可能と考えております。
- 委員（森 泉君） ふるさと納税エントリーの状況はどうでしょうか。
- スポーツ振興課長（大島 実君） エントリーは30,000円からあり、今年度50,000円及び70,000円を設定しましたが、ほとんどが30,000円のエントリーとなっております。  
なお、昨年度は59件のエントリーでありましたが、今年度は現時点で31件のエントリーとなっておりますので申し込みは伸びております。  
ふるさと納税の仕組みを理解する方が増えてきたことが、その要因と思われま。
- 教育長（篠山 充君） 以上、報告第17号 教育委員会の事業推進について ございました。  
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
- 教育長（篠山 充君） 以上をもちまして、本日予定されました案件はすべて議了いたしました。  
なお、その他で何かございますか。
- 教育長（篠山 充君） 委員さんから何かありますか。  
各課長から何かありますか。  
事務局から何かありますか。
- 教育長（篠山 充君） それでは、以上をもちまして令和6年第7回大田原市教育委員会定例会の会議を閉会いたします。  
お疲れ様でした。

閉会：午後2時30分

この会議録は、令和6年6月11日に調製されたものであるが、その内容に相違ないことを認め、ここに署名する。

令和6年7月10日

教育長

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

調製者